



コロナ対策すすめる ためにも引き続き 区政へ

- いつでも誰でも無料でできるPCR検査
- 迅速なワクチン接種
- 営業補償と生活支援
- 症状に応じた必要な医療の提供

貧しさや声を聞く体験が、私の活動の原点

私が生まれ育ったのは三井三池炭鉱の町・大牟田です。家庭は貧しく、テレビが壊れても修理に出せず、熱中していたサッカーの放送を音だけ聞いた時代もありました。大学は、新聞奨学生として住み込みで配達をしながら通いましたが、生活費と学費を工面できずに断念しました。東京生協(現コープみらい)では、組合員や消費者の声を聞き、安心・安全な商品開発に取り組みました。貧しさやつらさに寄り添い、みんなの声を大切にすることを活動の原点は、私の生まれ育った生活にあります。

コロナ禍の今こそ、命と暮らしを守りたい

コロナ禍の今こそ、困っている人、1人ひとりに寄り添い、命と暮らしを守るために、初心を忘れず頑張ります。

小さい頃から苦勞してきた三小田さんだからこそ、困っている人に寄り添うことができます。私に倍するご支援で区政に押し上げてください

都議会議員 和泉なおみ



三小田 准一

みんなのこえをたいせつに

みこた じゅんいち

区議会議員・5期

プロフィール

- 1959年、福岡県大牟田市に3人兄弟の末っ子として生まれる。小学校5年生から新聞配達で家計を助ける。中学・高校とサッカーに熱中。●朝日新聞奨学生として働きながら大学に通うも中退。●東京生協(現コープみらい)に勤務し、食の安全に取り組む。●2001年区議会議員初当選、現在5期目。●家族は妻と一女。活動地域：柴又1～7、鎌倉1～4、高砂2～8

コロナなどお困りごと
はご連絡ください
TEL.090-8040-1181



ホームページ

日本共産党

葛飾民報

2021年9・10月号外
葛飾民報社／葛飾区南水元2-24-12／☎3697-2101
日本共産党葛飾地区委員会の見解と活動を紹介します。

総選挙でコロナから
命を守る政権に交代を

#比例は日本共産党 17区・新井杉生



2018年9月18日 昼休み行動

まだ使える区役所の移転・建替えは中止し、コロナ対策に全力集中を

区役所は大規模改修すれば、あと37年は使えます。立石駅北口再開発ビルに移転するとすれば、660億円もの税金投入となります。コロナ禍のもとで税金の使い方が間違っています。



2018年6月22日 国保料引き下げ求める学習会

国民健康保険料の引き下げ

国保料の引き下げ、子どもの保険料の廃止を求め、繰り返し独自の条例や予算組み替えを提案し、ついに来年度から就学前まで半額になります。廃止まであと一歩です。



バス路線の拡充

高砂団地周辺が循環バスの検討路線に

高砂団地周辺は交通不便地域です。団地住民のみなさんと署名運動に取り組み、議会論戦や区長申し入れで区政を動かす、優先的に検討する10路線の一つに。

各地で自然災害が続いています。防災対策を強めます

- 人権、多様性に配慮し、バリアフリーの避難所
- 避難所運営をサポートする指定職員の増員
- 家庭に1台防災ラジオ
- 住宅の耐震化促進



ジェンダー平等の区政へ
区が当初拒んでいたLGBT相談窓口を設置させ、パートナーシップ制度求める請願や選択的夫婦別姓の意見書の採択をすすめてきました。

特別養護老人ホーム新設

高砂団地建替え跡地に整備決まる

1万5133筆の署名が区政、都政を動かし特別養護老人ホームの整備が決まりました。一日も早い整備計画と国民年金で入れる施設を目指します。

高砂保健センターの復活

保健所業務がひっ迫しています。感染症に対応する保健センターを復活させます。



保健センター守ろうの署名運動



高砂団地建替え跡地(創出用地)

区政ニュース毎週発行して20年

毎週の区政ニュース、週5日の早朝駅頭宣伝、定例会ごとの区政報告会、週1回4カ所のまちかど演説。区政報告は、区議会議員のもっとも大事な仕事です。



区議会議員
5期

日本共産党

力を合わせれば変えられます

みこた じゅんいち

三小田 進一



水泳指導は命を守る教育 学校プールなくさないで

水泳指導は、海や川での水難事故から命を守る教育です。この教育を保障するために学校プールが設置されています。廃止は、命を守る教育の放棄です。

学校外プールの活用は、移動時間がかかり必要な時間が確保できません。また学校プールは重要な消防水利となります。

鎌倉公園プール廃止の時、学校プールを開放すると言ったのは区民をあざむくものです。